

[問題 1]

道路、河川、港湾、排水機場、ため池等の社会資本は、国民の生命・財産を守り、地域経済を活性化させるとともに、生活の安全性、利便性向上等に寄与している。

これらの社会資本は、高度経済成長期に集中的に整備されたことから、昨今、その多くの施設が、ほぼ同時に老朽化し、計画的かつ効率的な維持修繕や更新を行っていく必要がある。

また、近年、頻発・激甚化する災害発生時の緊急対応、早急な復旧工事の実施、加えて災害への備えとして、更なる施設の強靱化、防災対策等、多くの喫緊の課題に対する行政、とりわけ土木系技術職員及び建設業が担う役割の重要性は、益々増大している状況にある。

このような状況の中、今後、着実に社会資本整備を推進する上での課題として、以下の2つ（①、②）が考えられる。

課題①：限られた予算の中で、多くの社会資本の維持修繕や更新、強靱化及び防災対策を進めていく必要がある。

課題②：建設業における労働者の高齢化及び若年入職者の減少、いわゆる「担い手不足」が深刻化している。

- (1) 上記の課題①、②のいずれか1つを選択し、選択した課題の改善に向けて、どのような取組みが必要かあなたの考えを述べなさい。なお、①、②のどちらの課題に対して述べるのかを記載のうえ、解答すること。

(解答は、20行程度で記述すること。)

- (2) また、建設業と一体となって取組みを推進する行政側の技術職員の不足、若手職員の技術力向上も本県の重要な課題となっている。

このような状況を踏まえ、今後、課題の改善に向けて、本県の総合土木職（技術職員）に求められる取組み、及びそれに必要とされる知識や能力は何か、あなたの考えを述べなさい。

(解答は、15行程度で記述すること。)

[問題 7]

都市計画区域に関する次の記述について、A～Dにあてはまる用語を答えなさい。

都市計画は、農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保すべきこと並びにこのためには適正な制限のもとに土地の合理的な利用が図られるべきことを基本理念として定めるものである。法第2条

都市計画区域については、都市計画に、当該都市計画区域の整備、**A**及び**B**の方針、いわゆる都市計画区域マスタープランを定める。法第6条の2

また、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため必要があるときは、都市計画に、**C**と**D**との区分、いわゆる区域区分を定めることができ、**C**は、すでに市街地を形成している区域及びおおむね十年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域であり、**D**は、市街化を抑制すべき区域である。法第7条

[問題 9]

農地の排水計画に関する記述について、A～Dにあてはまる数値や用語を答えなさい。

水稻の被害が最も大きい時期は、一般に穂ばらみ期で水稻の高さが**A** cm以上に達している頃で、湛水期間が1～2日までの被害は比較的軽いが、これを超えると急に大きくなる。そのため、排水計画では、一般に許容湛水深を**A** cm以下に、これを超える場合には、湛水時間を**B**時間超えないように定めている。

排水方式には**C**と**D**があるが、まず、**C**の可能性を検討し、これが困難な場合にその地区の一部または全部について**D**を検討する。